

# 18歳選挙を学ぼう



## 海外の選挙について

本紙はこれまで18歳選挙権について高校生へのインタビュー、三原市選挙管理委員会への取材を行なってきました。今月号は18歳選挙権を既に実施している外国の現状を紹介します。

今回取材させて頂いたのは、ストックホルム大学国際比較教育研究課程に在籍し、ヨーロッパ・北欧の社会、若者、若者政策を研究している両角達平(もろすみ たつへい)氏です。

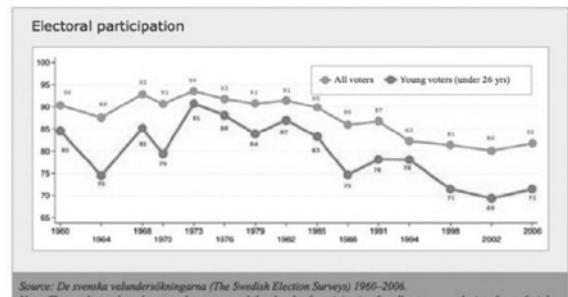
### 1. スウェーデンの若者の投票率は非常に高い

三原JC(以下「JC」) スウェーデンでの若者の投票率について教えてください。

両角達平氏(以下「両角氏」) 折れ線グラフをご覧ください。投票率は全体で約8割、26歳以下でも7割を超えてます。

スウェーデンの2010年の総選挙では全体の投票率は84.6%であり、そのうち18歳から29歳までの投票率は過去最高の79.5%にものぼりました。

JC 日本の2014年12月の衆議院選挙の投票率が52%前後と戦後最低を記録し、20歳代の投票率が37.89%だったことからすると若者に関しては2倍以上も投票率が違いますね。



Figur 7. Average proportion of young people who voted and average of the electorate as a whole, 1960–2006. Percent.

### 2. 投票率が高い理由

JC なぜスウェーデンでは若者の投票率が高いのでしょうか。

両角氏 いくつか理由が挙げられます。まずは被選挙権の年齢の違いがあります。スウェーデンでは被選挙権年齢も18歳です。つまり18歳で、立候補した同年齢の友達に投票できるわけですから選挙に対するスウェーデンの若者の感覚は我々日本の若者とは違います。

次に、投票率を向上させる取り組みが挙げられます。スウェーデンでは、初回有権者のためのウェブサイトやポストカードの送付、地域の新聞による情報掲載などを行ない、過去最高の投票率の結果を出しています。さらに、事前投票は図書館などの公共施設でもできるようになっています。2006年の選挙では有権者の31%が郵便による投票を利用しています。

しかし、日本と最も違う特徴として挙げられるのは政治に関する若者の関心が高いという点です。国が行なった『Ung Idag 2012』(今日の若者2012)という調査では、16~25歳の若者の3.5%が政党

組織所属(過去10年間で変化なし)、2012年の16~25歳の若者の政治活動参加率71%、そのうち50%の若者がインターネットを介して社会的な問題への支持を表明、40%の若者が自分の地域に影響を与えることに興味があり、17%が政治家に意思表明する機会があると感じていることが判明しました。

JC 政治に関する若者の関心が高い理由としてどのようなことが考えられますか。

両角氏 私は教育と若者の社会参加を推し進める「若者政策」にあると分析しています。

### 3. スウェーデンでの選挙教育事情

JC スウェーデンにおける選挙に関する教育について教えてください。

両角氏 スウェーデンでは学校選挙2014という取り組みが行なわれています。学校選挙2014とは、スウェーデンの国政選挙が実施されるたびに行なわれるプロジェクトです。日本でいう中学生と高校生が主な対象で、実際の選挙に先駆けて生徒が投票を学校で行なうというものです。もちろん投票は「模擬」なので実際の国政選挙に結果が反映されることはありません。同じ取り組みはスウェーデン若者市民社会庁、スウェーデン生徒会連合、スウェーデン学生自治会、欧州若者議会からのサポートを受けています。スウェーデン全土で1,629校が参加しており、参加する生徒総数は46万5,960人です。学校選挙と似たような取り組みは日本にもありますが、スウェーデンでは国ぐるみでこの取り組みを財政的にも支援しているという点で大きく異なります。

JC 生徒は各政党の政策や公約についてどうやって勉強するのですか。

両角氏 学校の授業で、生徒に政党の代表に成り切ってもらい、ワークショップ形式での討論会を行ないます。生徒は担当政党の主義主張や政策を勉強して本番に臨みます。

### 4. 三原JCとして選挙への若者の関心を高めるための取り組み

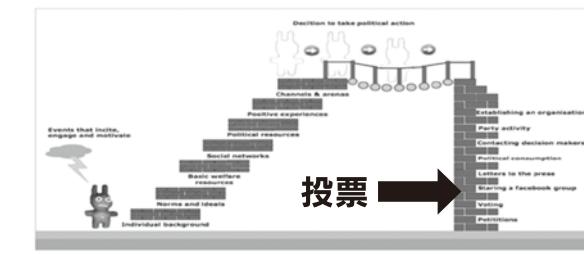
JC 三原JCが選挙への若者の関心を高めるためにつける取り組みとしてはどのようなものがあるでしょうか。

両角氏 スウェーデンで政治参画の度合いを示すとき使われる「若者の政治参画の梯子」というものがあります。英語で記載されていますが、図を見ると、右側に政治参画の度合いによる行動内容が記載されています。梯子の下の方に行くほど政治参画の度合いが低いと言えます。選挙での投票は英語では「Voting」といいますが、「Voting」は政治参加の度合いでいうと実は一番下から2番目に低いものです。

今、日本での選挙に関する教育や模擬投票等の事業は投票という政治参画の度合いが非常に低い段階をゴールと捉えて行なっているものです。「若者の政治参画の梯子」を見ると分かるように投票はゴールではありません。その事実にすら気が付いていない人があまり多いという現状です。この現状を前提として三原JCには三原JCが考える「若者の

政治参画の梯子」を作成し、地域の若者の政治参画への筋道を作つていただきたいです。若者にとっては国政よりも地方政治の方が身近な問題であり当事者として政治参画がしやすいと言えます。

地域に根差したまちづくりを進める組織である三原JCの様な団体こそが若者の政治参画を助ける役割を果たすのに適任であると考えます。その結果、日本の若者に当事者意識が芽生え政治参画の度合いが高まってゆくのではないかと想う。



両角 達平(もろすみ たつへい) 氏

1988年、長野県生まれ。静岡県立大学卒。ストックホルム大学国際比較教育修士課程在籍。専門は比較教育学、シティズンシップ教育。NPO法人Rights理事。静岡県立大学にて若者の社会参画を促進する学生団体・若者エンパワメント委員会を設立し、内閣府の子ども若者育成支援点検評価会議などに関わる。ブログ「Tatsumaru Times」を運営、ハフィントンポスト、BLOGOSなどに記事を配信。

## 取材を終えて

両角氏との取材で気付かされた点は私たちに何を期待しているかという質問の時です。『JCは「若者に当事者意識を持たせる」などの事業をすべきなのか』という言葉に対し「持たせる」という表現は適當と言えないのではないかと両角氏が指摘しました「子どもであっても大人以上に政治について真剣に勉強している者もいる。そんな彼らに對して大人がいわば上から目線で子どもを変えようとするという発想は正しくなく、子どもも大人と同じく一人の市民として扱い、彼らが政治参加しようと望む時に黙つて協力してあげるのが大人の果たすべき役割であり、そうして子どもに全てを任せることで政治が変わっていく」と回答しました。JCの活動も自分たちの考え方の押し付けではありません。今回の気付きを教訓として今後の事業を行なってまいります。

|       |       |   |    |   |     |   |   |        |   |   |   |   |   |   |     |    |    |   |     |   |   |   |   |   |   |   |   |     |   |   |     |     |   |   |   |   |   |   |   |
|-------|-------|---|----|---|-----|---|---|--------|---|---|---|---|---|---|-----|----|----|---|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|---|---|-----|-----|---|---|---|---|---|---|---|
| (株)寿司 | (株)カネ | 勝 | 親切 | 片 | (有) | ビ | 尾 | 小野     | お | 旬 | お | 奥 | 大 | 大 | (株) | N  | 宇  | う | (株) | お | 岩 | イ | ス | イ | 井 | い | 焼 | (株) | 池 | イ | ア   | ス   | 赤 | ア | ス |   |   |   |   |
| 河・    | ・     | ・ | ・  | ・ | ・   | ・ | ・ | マネジメント | 茶 | 彩 | し | 田 | オ | ー | ト   | エヌ | 野  | う | （   | お | ば | イ | ス | イ | 井 | い | 焼 | (株) | 池 | イ | ア   | ス   | 赤 | ア | ス |   |   |   |   |
| 割     | ・     | ・ | ・  | ・ | ・   | ・ | ・ | メント    | の | お | や | 自 | オ | ト | 東   | エヌ | 税  | ウ | （   | 田 | 上 | イ | タ | 二 | 井 | い | 焼 | (株) | 池 | イ | ア   | ス   | 赤 | ア | ス |   |   |   |   |
| 西     | 本     | 興 | 業  | カ | 木   | 村 | 不 | 理      | の | お | や | 動 | ギ | ド | 下   | エヌ | 保  | 理 | （   | 田 | ば | ん | タ | 二 | 山 | イ | ス | イ   | 井 | い | 焼   | (株) | 池 | イ | ア | ス | 赤 | ア | ス |
| 通     | か     | か | か  | か | か   | か | 不 | 理      | の | お | や | 動 | ギ | ド | 印   | 下  | エヌ | 理 | （   | 田 | ば | ん | タ | 二 | 山 | イ | ス | イ   | 井 | い | 焼   | (株) | 池 | イ | ア | ス | 赤 | ア | ス |
| 商     | 通     | 業 | 三  | 原 | 工   | 品 | 方 | 理      | の | お | や | 動 | ギ | ド | 印   | 建  | エヌ | 理 | （   | 田 | ば | ん | タ | 二 | 山 | イ | ス | イ   | 井 | い | 焼   | (株) | 池 | イ | ア | ス | 赤 | ア | ス |
| 社     | 社     | 社 | 三  | 原 | 工   | 材 | 方 | 理      | の | お | や | 動 | ギ | ド | 印   | 建  | エヌ | 理 | （   | 田 | ば | ん | タ | 二 | 山 | イ | ス | イ   | 井 | い | 焼   | (株) | 池 | イ | ア | ス | 赤 | ア | ス |
| 店     | 店     | 店 | 工  | 業 | 品   | 材 | 方 | 理      | の | お | や | 動 | ギ | ド | 印   | 建  | エヌ | 理 | （   | 田 | ば | ん | タ | 二 | 山 | イ | ス | イ   | 井 | い | 焼   | (株) | 池 | イ | ア | ス | 赤 | ア | ス |
| 蝶     | 蝶     | 蝶 | 工  | 業 | 品   | 材 | 方 | 理      | の | お | や | 動 | ギ | ド | 印   | 建  | エヌ | 理 | （   | 田 | ば | ん | タ | 二 | 山 | イ | ス | イ   | 井 | い | 焼   | (株) | 池 | イ | ア | ス | 赤 | ア | ス |
| 場     | 場     | 場 | 業  | 品 | 材   | 方 | 理 | の      | お | や | 動 | ギ | ド | 印 | 建   | エヌ | 理  | （ | 田   | ば | ん | タ | 二 | 山 | イ | ス | イ | 井   | い | 焼 | (株) | 池   | イ | ア | ス | 赤 | ア | ス |   |
| 蝶     | 蝶     | 蝶 | 業  | 品 | 材   | 方 | 理 | の      | お | や | 動 | ギ | ド | 印 | 建   | エヌ | 理  | （ | 田   | ば | ん | タ | 二 | 山 | イ | ス | イ | 井   | い | 焼 | (株) | 池   | イ | ア | ス | 赤 | ア | ス |   |
| 蝶     | 蝶     | 蝶 | 業  | 品 | 材   | 方 | 理 | の      | お | や | 動 | ギ | ド | 印 | 建   | エヌ | 理  | （ | 田   | ば | ん | タ | 二 | 山 | イ | ス | イ | 井   | い | 焼 | (株) | 池   | イ | ア | ス | 赤 | ア | ス |   |
| 蝶     | 蝶     | 蝶 | 業  | 品 | 材   | 方 | 理 | の      | お | や | 動 | ギ | ド | 印 | 建   | エヌ | 理  | （ | 田   | ば | ん | タ | 二 | 山 | イ | ス | イ | 井   | い | 焼 | (株) | 池   | イ | ア | ス | 赤 | ア | ス |   |
| 蝶     | 蝶     | 蝶 | 業  | 品 | 材   | 方 | 理 | の      | お | や | 動 | ギ | ド | 印 | 建   | エヌ | 理  | （ | 田   | ば | ん | タ | 二 | 山 | イ | ス | イ | 井   | い | 焼 | (株) | 池   | イ | ア | ス | 赤 | ア | ス |   |
| 蝶     | 蝶     | 蝶 | 業  | 品 | 材   | 方 | 理 | の      | お | や | 動 | ギ | ド | 印 | 建   | エヌ | 理  | （ | 田   | ば | ん | タ | 二 | 山 | イ | ス | イ | 井   | い | 焼 | (株) | 池   | イ | ア | ス | 赤 | ア | ス |   |
| 蝶     | 蝶     | 蝶 | 業  | 品 |     |   |   |        |   |   |   |   |   |   |     |    |    |   |     |   |   |   |   |   |   |   |   |     |   |   |     |     |   |   |   |   |   |   |   |